

2007 年度

科目名 英米文学特講 I	対象学科・学年 専攻科教福 1 回生	担当者 竹村 義和
授業テーマ 小説の技巧		
授業の概要と目標 自身小説家でもある David Lodge の <i>The Art of Fiction</i> を読みながら、英米の小説を味読するための基本的な技巧について勉強します。		
評価方法 出席 50、レポート 50		
テキスト <i>The Art of Fiction</i> 詳しくは最初の授業時に指示します。	著者 David Lodge	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 作者の紹介：ジョージ・エリオット、E.M.・フォースター 2 サスペンス：トマス・ハーディ 3 視点：ヘンリー・ジェイムズ 4 意識の流れ：ヴァージニア・ウルフ 5 異化：シャーロット・ブロンテ 6 反復：アーネスト・ヘミングウェイ 7 間テクスト性：ジョゼフ・コンラッド 8 象徴性：D.H.・ロレンス 9 寓話：サミュエル・バトラー 10 信用できない語り手：カズオ・イシグロ 11 異国性：グレーム・グリーン 12 電話：イヴリン・ウォー 13 シュルリアリズム：リオノーラ・キャリントン 14 アイロニー：アーノルド・ベネット 15 動機づけ：ジョージ・エリオット 16 持続性：ドナルド・パーセルミ 17 言外の意味：ウィリアム・クーパー 18 題名：ジョージ・ギッシング 19 思想：アントニー・バージェス 20 ノンフィクション小説：トマス・カーライル 21 メタフィクションジョン・バース 22 怪奇：エドガー・アラン・ポー 23 物語構造：レナード・マイケル図 24 アポリア：サミュエル・ベケット 25 コミック・ノベル：キングズリー・エイミス 26 複数の声で語る：フェイ・ウェルドン 27 過去の感覚：ジョン・ファウルズ 28 未来を想像する：ジョージ・オーウェル 29 エピファニー：ジョン・アップダイク 30 偶然：ヘンリー・ジェイムズ		